



## 2学期スタート! ~ 「実りの季節」に向けて ~

子どもたちが元気に、柞田小学校に帰ってきました。改めて、子どもたちの元気な様子が見られる学校は良いなあ、と感じます。本日、暑さを考慮し、放送にて行いました2学期の始業式では、次のようなことを話しました。

柞田小学校のみなさん、おはようございます。

四十四日間の夏休み、どんな夏休みでしたか? 今朝、登校の様子を見ると、少し背が伸びたかな、表情が少し大人っぽくなったかな、と感じました。今日からまた、新しい日々が始まります。友だちと、先生と、一緒に充実した毎日になることを願っています。

さて、一学期の終業式では、パリオリンピックピックを見て、学んでくださいというお話をしましたが、どうでしたか。日本は、たくさんの方々の活躍を見せてくれました。ただ、校長先生は応援しながら、ちょっと不思議に感じることもありました。それは、すごくたくさんの方々が日本を応援してくれる、ということ。中には、日の丸の鉢巻をつけて応援くれる方もいました。すごく嬉しく感じるとともに、なぜ、こんなにも応援してもらえるのか、と考えたところ、次の3つのことがあるのではないかと感じています。

まず一番目には「**礼儀正しさ**」です。日本の選手は競技が終わると必ず、その「場所」に向かって「礼」をしていました。柔道やバレーボール、バスケットボール、陸上などで必ず、お礼を込めたお辞儀をその「場所」に向かってしていました。その姿が外国の方にとってはとても美しく感じて、応援しよう、という気持ちになるのではないかと、思いました。

次に、二番目には、「**相手への思いやり**」です。勝負に勝つと喜びを爆発させたいのですが、多くの日本の選手は、相手の所に行って握手をして、一緒に戦った相手を称えていました。悲しんでいる相手の前で派手なガッツポーズをしたり、相手を挑発したりするような行動は、まず見られません。このような行動が、世界から美しい、と感じてもらえるのだと思います。

最後に三番目には、「**仲の良さ、チームワークの良さ**」です。仲間がミスをした時に、責めたり、怒ったりする人は一人もいませんでした。お互いに励まし合いながらミスをカバーして、成功した時にはみんな嬉ぶ姿が日本には多いなあ、ということを感じました。

日本が世界から愛される、応援してもらえる理由、それは「礼儀正しさ」「相手への思いやり」「仲の良さ、チームワークの良さ」だと感じました。さすが一流のアスリート、と思う一方で、みなさんも、すぐに真似ができることではないかと感じます。学校でも、あいさつをし、感謝の気持ちを伝える「礼儀正しさ」、困っている人がいたら助ける、寄り添って支える「相手への思いやり」、学級や学年、合唱部や運動部という集団の「チームワークの良さ」、全部、つながっていると感じます。ぜひ2学期、アスリートから学んだこのようなことをしっかりと生かして、いろいろな人に「応援してもらえる」人をめざしてほしいと思います。

一学期に大切にしてきた「人を傷つけない」こと、暴力、言葉の暴力やいじめは絶対にしない、ということも守り続けてください。そして、友だちが、何かに一生懸命に頑張っていたら、その子が頑張っている以上にしっかりと応援できる人をめざしていきましょう。

これで2学期始まりの挨拶を終わります。